

リニモテラス公益施設(仮称)の設計案

リモテラス公益施設(仮称)の整備に関する事項

▶目的 まちの新たな顔として、リモテラス長久手古戦場駅前に「リモテラス」を整備しており、「リモテラス公益施設(仮称)」(以下「公益施設」という。)はそのリーディング施設として、市民や訪れる人の交流拠点とします。
 = 『新たなつながりをデザインする場』

▶経過

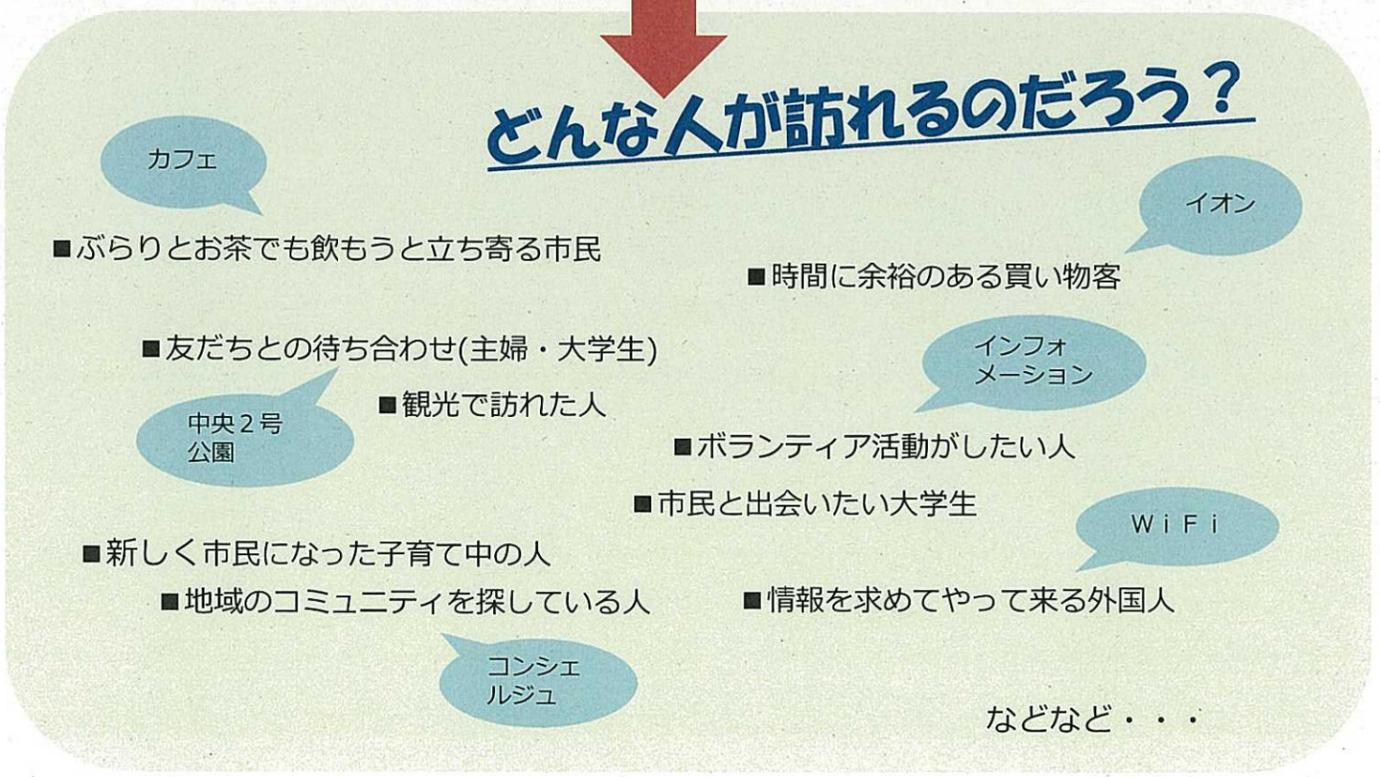
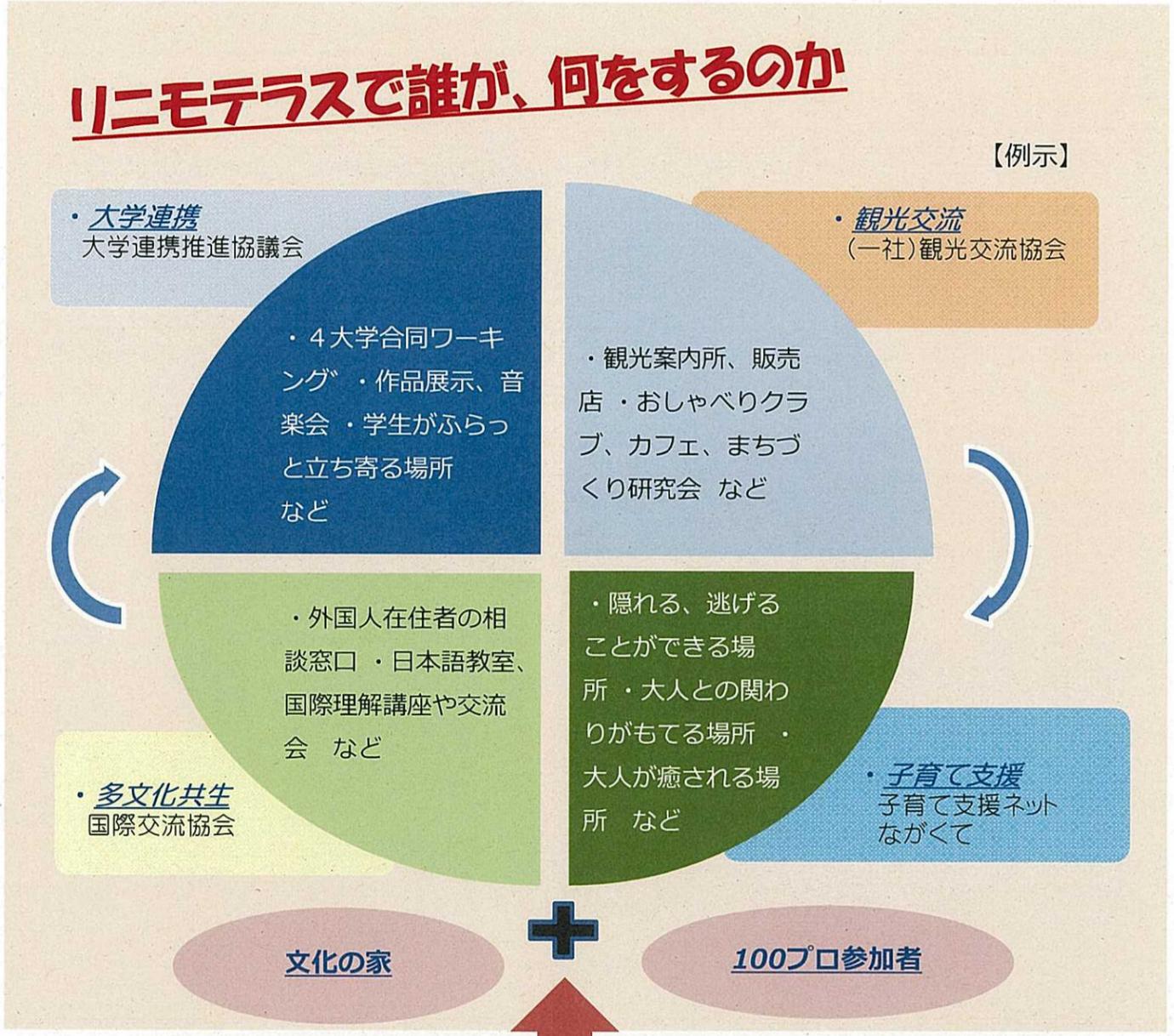
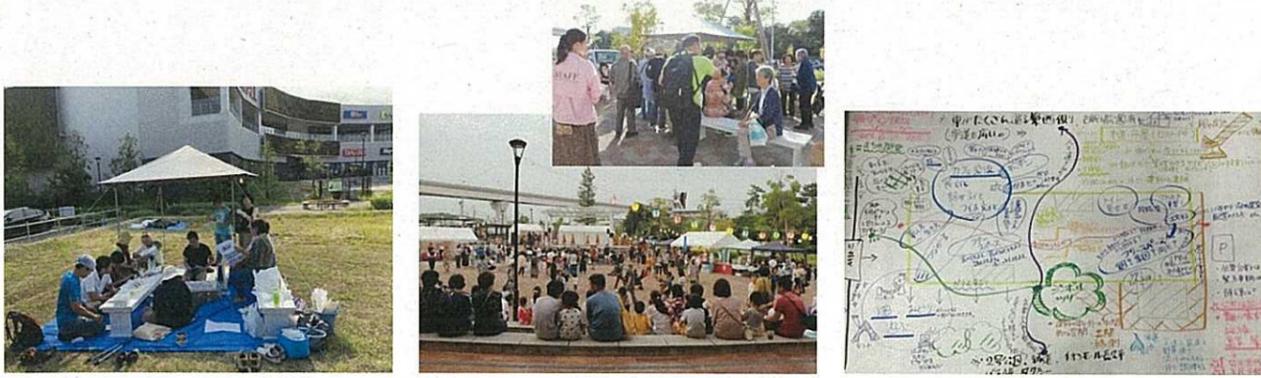
- ・市は、平成27年度に策定した公益施設の整備基本計画に基づき、市民ワークショップやヒアリング等を通じて、市民ニーズの把握や実証的なイベントに取り組んできました。
- ・平成30年度からは、4つのテーマ「大学連携」「観光交流」「多文化共生」「子育て支援」に関連する市民団体等で構成する「リモテラス運営協議会」が、主体的に施設の設計及び管理運営に関して検討してきました。
- ・市では、運営協議会の検討結果をもとに設計案を作成し、今年度中に実施設計を行います。

▶特徴

- ① 公益施設は、使い勝手のよさを考え、『木造・平屋』とします。
⇒ 日常の施設利用や活動、管理のしやすさを優先
- ② 誰でも気軽に立ち寄れるよう、『オープンな空間』とします。
⇒ カフェや大廊下、フリースペースなど交流機能を充実
- ③ 公益施設の管理運営は、『公民連携』で行います。
⇒ 4つのテーマに関連する市民団体を中心に事業を展開
- ④ 隣接の中央2号公園と連携し、『将来発展性』を残します。
⇒ 中央2号公園のグレードアップを前提に、連携機能を検討

▶主なスケジュール

- ・ R1/10/30 市が設計案を市議会で説明
- ・ 11/24 運営協議会が市民向けに報告会を開催
- ・ R2/3月 R2年度当初予算で建設工事費を計上
実施設計が完了
- ・ 6月～ 建設工事に着手
- ・ R3/3月 建設工事が完了
- ・ 5月頃 施設がオープン







事務室



DIYルーム